



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 12

2010.9.22 (No.2609)

第2560地区ガバナー／東山 昕也  
 会長／樺山 仁  
 会長エレクト／山田 富義 (クラブ奉仕A)  
 副会長／杉山 幸英 (クラブ奉仕B)  
 幹事／明田川 賢一  
 S A A／若槻八十彦  
 会計／松永 一義

例会日／毎週水曜日 12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.net.jp/~rotary/  
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)

■本日の出席会員数:55名中38名  
 ■先々週出席率:79.63%

#### 【ゲスト】

- ・国際ロータリー第2560地区ガバナー 東山 昕也 様
- ・第4分区アシスタントガバナー 斐澤喜一郎 様
- ・国際ロータリー第2560地区幹事 羽深耕時 様

#### 【ヴィジター】

三条ローターアクトクラブより  
 ・会長 赤坂広太郎さん

#### 【先週のメイクアップ】

[9.16] 加茂RCへ  
 ・加藤紋次郎さん



BUILDING COMMUNITIES  
BRIDGING CONTINENTS

「地域を育み、大陸をつなぐ」

2010～2011年度国際ロータリーのテーマ

#### 「巾着田 ヒガン花」



荻根澤隆雄 会員より

## 会長挨拶

樺山 仁 会長



御挨拶致します。

本日は、2560地区ガバナー東山さん、地区幹事の羽深さん、AGの斐澤さんをお迎えしての公式訪問でございます。

日頃は三条クラブに対しての御協力御指導、誠にありがとうございます。

今年の夏は異常に暑い日が続き、夏の疲れが出る程です。御身体に気を付けて頂きたいと思っております。

今年度のRIのテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」

地域のテーマである「友絆 地域とともに」

ロータリアンの熱き心の絆を深め活動を広めよう。

ロータリアン1人1人の熱意ある行動を実行しよう。

と、テーマを一つずつクリアしなければと思っております。

当三条クラブは、第4分区の古参のクラブであります。古い故に歴史と伝統の中に埋もれて、自己満足している様では困ります。一歩前に進まねばなりません。よろしく御指導の程、御願ひ申し上げます。

先程、会長、幹事、副幹事、及びローターアクトの会長と約一時間に渡り事前の懇談を頂き、御指導頂きました。誠にありがとうございます。そしてこれからの講話、クラブ協議会、記念撮影とも、よろしくお願い致します。

ガバナーの役割は、大変なスケジュールの中に身をおかれ、体力勝負な御役でございます。くれぐれも御自愛願ひたいと

思います。

先日のIMの時の、「熱き心で我がロータリークラブを語る」と言う演題で、私が我がクラブについてお話し致しました所、講評の段になって、PG馬場氏が色々、私の個人の系図の中の歴代の東京クラブの初代のメンバーに樺山愛輔氏がいるが、どの様な関係なのかと、色々PCで調べられた様で、個人情報皆さんの前で報告されてしまいましたのには、驚きでした。1920年4月、90年近く前の事でございますので、私にはほとんど分かりませんが、PCで調べると、古い昔の歴史的な事柄が分るとは、びっくりです。

本日は御講演の後に、各委員会よりの活動報告、及び経過報告があります。よろしく御指導お願いします。

以上で挨拶を終わります。

杉山幸英さん、 渋谷健一さん、 菊池 渉さん、  
若槻八十彦さん、小越憲泰さん、 高橋 司さん、  
佐野勝榮さん、 伊藤寛一さん、 小林敬典さん、  
渡辺勝利さん、 五十嵐昭一さん、荻根澤隆雄さん、  
石橋育於さん、 丸山行彦さん、 松永一義さん、  
佐藤純二さん、 小宮好智さん、 平原信行さん、  
会田二郎さん、 西山徳芳さん、 中村光一さん、  
斎藤真澄さん、 明田川賢一さん、金子俊郎さん、  
成田秀雄さん、 熊倉昌平さん、 小出子恵出さん、  
五十嵐浩さん

東山ガバナー、心より歓迎致します。

9月22日分 ￥38,000  
今年度累計 ￥322,000

## 幹事報告

### 明田川賢一 幹事

◎東山ガバナー事務所より、ロータリーレート変更なしと連絡が届いております。

10月1日から1ドル86円(現行)

## ニコニコBOX

### 東山昕也ガバナー

本日はよろしくお祝い致します。

### 葦澤喜一郎AG(三条南RC)

東山ガバナー、羽深地区幹事を同行して公式訪問に参りました。よろしくお祝い申し上げます。

### 樺山 仁さん

本日は遠路、我々のクラブの為に御出席いただきましたガバナー東山さん、羽深さんよろしく御指導いただけますようお願い申し上げます。公式訪問事業を成功しますように。

### 渋谷健一さん

敬老の日、三条市より長寿ということでお祝いをいただきました。

### 中村和彦さん

9/17~20まで九州に登山に行って来ました。開聞岳かいもんはいい山でした。

東山ガバナーを歓迎します。

### 渡辺良一さん

初めて休ませていただきました。

東山ガバナーを歓迎致します。

## 10月のお祝い

### ◎会員誕生祝

18日 渡邊喜彦さん

24日 佐野勝榮さん

29日 小宮好智さん

### ◎夫人誕生祝

3日 五十嵐幸子さん(晋三さん)

21日 会田陽子さん(二郎さん)

### ◎結婚記念祝

2日 石橋育於さん(久子さん)

3日 五十嵐晋三さん(幸子さん)

10日 藤田紘一さん(幸子さん)

10日 高橋 司さん(恵子さん)

10日 田中 仁さん(真弓さん)

13日 阿部晃義さん(良子さん)

15日 浅野金治さん(ちか子さん)

15日 渡辺勝利さん(美代さん)

22日 斎藤真澄さん(千也子さん)

24日 松永一義さん(シゲミさん)

25日 熊倉昌平さん(恵子さん)

27日 佐藤純二さん(のぶ子さん)

### ◎100%出席賞

40年 熊倉昌平さん



# 東山ガバナー公式訪問

## 講 話

第2560地区ガバナー

東山 昶也 様



三条ロータリークラブの皆様こんにちは。高田ロータリークラブの東山と申します。

今日一日お付き合いの程、よろしくお願ひ申し上げます。

新年度も早いもので3ヶ月経とうとしております。その間、地区においてもたくさんの研修会、勉強会が行われております。先般、蕪澤AGのご指導のもと、第4分区のIMが素晴らしく充実した内容で執り行われたと報告を受けております。これは、55年、60年を迎えようとしている三条RC皆様の熱いご指導のおかげと私は理解しております。また、北クラブを立ち上げてガバナーをなされた中條さんや南クラブの馬場さん、5年の間に二人のガバナーを輩出されたというのは、陰日なたとなく三条RCのご指導があったからだとは私は理解しております。

今年例年になく猛暑でして、7月から公式訪問を始めて今回で31か所目。本来ならもっと早く三条クラブに訪問してご挨拶しなければならなかったのですが、スケジュールが立て込んでおまして皆様には深くお詫びをしなければならぬと思っております。

さて、私はガバナーとしてもっとも重要な責任ある立場として公式訪問致しまして、会長幹事、次年度幹事にお集まりいただき、蕪澤AGからクラブの現況や活動方針を伺いましたが、もちろん今までの実績や功績などは十分承知の上で伺っておりますので、指導するなどとはおこがましく、学ばせていただく気持ちで参りました。

今を取り巻く社会の変化や経済的にも厳しい状況の中でのロータリーと地域、ロータリーと我々ロータリアン、ロータリアンとそれぞれ私たちの職業との多くの問題点というのを十分承知しております。

クラブの間では職業奉仕の精神が活動の原点であります。職業、地域を考えた会員の目線で考えなければならぬとは私は思っております。私は、クラブとクラブそしてRIとの間に良好な関係を促進する橋渡しの役として、この後のクラブ協議会でRIのテーマ、強調事項、地区の運営方針、もっとも大事な組織の強化、クラブのあり方や柔軟思考を育てること、それと会員の多様性を増進するという事をお願いするという事で公式訪問を行わせていただいております。

1月にガバナーエレクトの勉強の為、アメリカ・サンディエゴでの国際協議会に出席してきました。一年中温暖な1月でも23、4度くらいのリゾート地であります。

世界には531の地区がありまして、役員の方など約1,200名が出席した大協議会でした。入り口には「入りて学ぶ」出口には「出て奉仕せよ」と各国の言葉で書いてありました。私なりに、例会で学び、例会を楽しみ、例会に出て奉仕せよと理解しました。

我々はロータリー活動を通して多くを学び、気づき、会社、職場、地域社会で世界の平和と繁栄の為に奉仕する事が使命です。私のロータリーに対する基本的な考え方は親睦と奉仕活動を通じて自己研鑽、自分自身を磨く場です。会員一人ひとりのロータリーライフの充実と元気のあるクラブづくりに皆さんと力をあわせて「超我の奉仕」を実践していきたいと思っております。

レイ・クリンギンスミスRI会長は今年度のテーマを「地域を育み、大陸をつなぐ」とされました。これはスミス会長の50年にわたるロータリーの経験からRI自身が変化を受け入れようとしたものと思っています。伝統的な習慣を見直し、新しい伝統を始めるべきではないかという事です。今までは我々ロータリアンだけに呼びかけるテーマであったと指摘しています。今年度はロータリアン以外にもロータリーの目的を理解していただき説明するという事と私達ロータリアンに活動の意義を再認識して貰いたい。という二つの目標を満たす簡潔なテーマです。つまり新しい伝統を始めるといことは地球規模で斬新的なテーマです。活動の焦点は将来に夢を持つ。クラブの活性化と柔軟性が強調されています。

地区とクラブの長期計画の立案、会員増強が最大の事業であると共通認識を持ってください。新会員無くして他を語る訳にはまいりません、と強く言われました。ロータリー活動が立派で尊いものでも会員が居なければ数十年の内に消滅してしまうと訴えられました。もっとも大きな問題は一部を除いて会員の減少に歯止めがかからない事です。経済情勢が大きく影響しているばかりではなく会員の高齢化、会員一人ひとりの価値観の違いもあると思っております。

私が今年度皆様と共に実行したい事はロータリーを楽しむ事です。社会に貢献し地球というひとつの仲間と大陸をつなぐという事です。そのためには「ロータリーを楽しもう」が合い言葉になるのではないのでしょうか。自分にとってロータリーとは何か？会員の皆様にとってロータリーとは何でしょうか？そしてロータリーをまだ知らない人にとってロータリーとは何か？と常に考えて実践していく事は大切だと思っております。



「ロータリーは何ですか」と聞かれた場合、百人百様の答えがあると思います。私は「自己研鑽と奉仕の団体」と答えます。ロータリーという異業種の交流の中で発想の交換や豊かな交友関係を発展させて自身の職業レベルを高める事が出来ます。

まず例会を楽しみましょう。我々一人ひとりが職業奉仕を通じて貢献していく事が大切です。ロータリーの精神を多くの方々に伝えましょう。地域を育てていこうではありませんか。さらに世界に目を向けて我々が出来る事、しなければならぬ事が見えて来ます。地球的規模で見ると六大陸はつながり一つの社会になります。「地域を育み、大陸をつなぐ」事が我々の使命です。繰り返して申しあげます。先ず自分自身がロータリーを楽しむことから始めましょう。

次にロータリーの基本はロータリークラブに主体があるという事についてお話ししたいと思います。RIは事業の方針や目標を提示します。しかし、ロータリーの基本は各ロータリークラブにあるわけですからクラブが主体に計画していく事です。地区は各クラブの計画の立案と実行について支援します。各ロータリークラブが魅力的で楽しいクラブになるためには、各クラブの会員一人ひとりが誇りを持ち奉仕の活動をしていき、他の人々に認められ、クラブ自体が生き生きとしていかなければなりません。RI会長は基本方針であるテーマや強調事項、長期計画、R財団の未来の夢計画を立てていますが、決して各クラブに強制するものではありません。各クラブが立案していく上での指針として出されるものです。一人のロータリアンでは出来ない事をクラブが実行します。クラブが出来ない事を地区が応援します。RIやR財団の支援も受けられるのです。この地区や財団の支援を受けるにはクラブの計画が必要です。その計画とは何のために・何処で・何を・何時までに・どんな方法かを計画し行動することにあります。

ロータリーの説く職業奉仕が各会員の自己改善の出発点を提供しそれが職場に夢と潤いを与え、我々がロータリーをエンジョイするために正しいロータリー情報の普及が必要です。

今までのやり方や方法も新しい時代と共に見直していく必要があります。昨今、日本のロータリー会員の減少が止まらず危機感が持たれています。

今何をなすべきであるか、世界のロータリアンから指導者として高い評価を受けている、日本のロータリアンからも尊敬されているタイのピチャイラタクル元RI会長が東京の2580地区の講演会でお話された事をお話しします。

近年会員が減少していることはご承知の通りです。

私達は絶望的になりロータリアンとしての心と魂、理想を忘れてなりふり構わず会員増強に走りました。我々は職業分類の原則を無視し、会員の適格条件に注意を払わず、新会員がクラブに入る前にロータリー情報を十分に説明しませんでした。出席の必要性や友情、奉仕を強調し説明するのを怠って来ました。現在、世界のクラブの多くが量に重点を置き、会員の資格と適正、質を無視している事実を憂慮しています。この普遍の原則を守らず普遍の価値を失います。

間違いなくロータークラブは生きている組織です。成長しなければ滅亡する事を認めます。成長を逸した時、衰退が始まります。単に会員の数を増やそうと言うことではありません。ロータリーの理想に触れて自ら磨くことの出来る高い資質を有する人が必要です。

新会員が適正な教育を受けずに入会すれば会員が増加するかも知れませんが、ロータリークラブとしては間違いなく死滅します。そのクラブは地域を代表する職業人の集まりと言えないからです。価値が無くなります。それ故ロータリーの質の向上をロータリアン自らの心に刻みましょう。

会員増強や新クラブ結成に於いて質の向上に努めましょう。と強く訴えられました。ロータリーが抱えている共通の問題として「組織の強化とクラブの活性化」そして会員増強ですが、ピチャイラタクル元RI会長の言葉を念頭に職業分類の検討、新会員のアフターサービス、情報提供、原点に返り教育の見直しをしなければ退会者はこれからも増えると思います。我々が客離れにあうのと同じ理由だと思います。楽しく親しみやすい研修の場を設ける必要があります。

ロータリーの会員として大切な事はポールハリスの言葉にあります。「目的は何ですか？私達は学ぶ事です。」「何を学ぶ事ですか？人生を学ぶ事です。」「人生から何を学ぶことですか？ただ一つにエゴと決別するかを学ぶ事です。」ロータリーは自己の確立と充実した人生、楽しく生きる自分の為にあります。多くの出会い、経験、実績で学びます。ロータリーは自分づくりであり、人づくりであり、学びの実践の場であると思います。

経験豊かなロータリアンが大変多い三条RCの皆様、どうか2560地区県央の第4分区におきまして、高きご指導と支援をよろしくお願ひします。

まだ5分ほど時間がありますので、私は経験豊かな皆様方にはお話できるような事はございませんが、2660地区の80歳を越えられた有名な戸田孝バスターが「ロータリー理解推進月間」に寄せられた言葉の中から5つご紹介します。



1. 楽しく活力あるクラブにするために肩書や地位など心の鎧を脱いで、ポールハリスが自叙伝に書かれた寛大で親しみがあり、人様のためになりたいという少年の心に戻ることです。みんな初心に戻って語り合えば楽しい会になるに違いありません。
2. 温かい人柄になれます。ロータリアンとして歳月を重ねると人間的温かさと愛情、これは私たちがロータリーに尽すより遥かに大きいものです。ロータリーは楽しみながら仲間を愛する人間になる場です。
3. ロータリーの真の姿はE S S  
Eはエンジョイ 楽しむこと、Sはスタディ 学ぶこと、Sはサービス 奉仕すること。心を許しあう仲間が毎週の例会を楽しみ、互いに学び自分を高め社会に奉仕する、このような過程を積み重ねての人格、人間性を高めていく、トルストイの他人のために生きる人は幸せである、に勇気付けられ力をあわせて人のため、世界のために奉仕するロータリアンであることを幸せとして感じようではありませんか。
4. 各自の職業を天職と心得、誠実に努力することが奉仕の原点であろうと信じ、励んでこられたロータリアン各位に敬意を表して変わらぬ献身を願うものであります
5. ロビンス元RI会長の言葉で「ロータリーの進化は如何なる計画を実践したかよりも、そのクラブが如何なるロータリアンを育てたか、如何なる人づくりをしたかが大切である。」

良き人材づくりに励みたいと、ちょうど時間となりましたのでこのように結んで私の話を終わりたいと思います。本日はどうもありがとうございました。



第4分区アシスタントガバナー  
**萑澤喜一郎 様**

今日は3回目の訪問になります。東山ガバナー、羽深地区幹事をお連れしての公式訪問です。よろしくお願い致します。

私の申し上げるべき事は2回の訪問でお話し致しましたので、これからの第4分区の事業について少し触れさせていただきます。

- ① 東山ガバナーをお迎えしての第4分区親睦交流会を11月4日(木)三条東RC公式訪問終了後15:30から開催致します。初めての開催ですので楽しい交流会になりますよう念じております。スポンサークラブは三条東RCです。多数のご参加をお願い致します。
- ② 9月4日の第4分区IM開催に際しまして、多数のご参加をいただき、盛大に開催する事が出来ました。他クラブの活動を知り、理解を深めていただいたものと思います。また、急な案内でしたがIMの休憩時間を利用しての第3回会長・幹事会と会員増強分区会議を開催させていただきました。ご参加いただきました関係各位に感謝申し上げます。
- ③ 国際ロータリー第2560地区地区大会が11月21日(日)上越市「リージョンプラザ上越」で開催されます。多数のご参加をお願い申し上げます。



2010.9.22

東山昕也ガバナー公式訪問

三条ロータリークラブ





次週例会 10月13日

外部卓話 「免疫力アップのコツ」  
NPO法人日本フットセラピスト協会トレーナー  
フィットネスインストラクター 石田まり子 様

次々週例会 10月20日

「職業奉仕月間」  
職業奉仕委員長 高橋 司 会員

